

## 第 18 回鶴川駅南側街づくり検討会 会議要旨

日 時：2014 年 7 月 5 日（土）午前 10 時～正午

場 所：和光大学ポプリホール鶴川 3 階会議室

出席者

地権者：9 名

その他：6 名

町田市：望月課長、吉原担当課長、加藤係長、森本、船岡

コンサルタント：パシフィックコンサルタンツ株式会社（桑山、久保、村井、近藤）

### 【次第】

#### 1. 資料説明

- (1) 今年度のスケジュールについて
- (2) 鶴川駅南側地区の現状と課題
- (3) 道路ネットワークの考え方
- (4) 地区整備のイメージ

#### 2. 質疑応答・意見交換

#### 3. 今後の予定

### 【議事】

#### 1. 資料説明

- (1) 今年度のスケジュールについて
  - ・ 2014 年度検討会のスケジュールについて資料に基づき説明
- (2) 鶴川駅南側地区の現状と課題
  - ・ 鶴川駅の現状、鶴川駅南側の交通面と土地利用面の現状と課題について説明
  - ・ 鶴川駅の乗降客数に近い経堂駅の駅前広場を参考事例として紹介
- (3) 道路ネットワークの考え方
  - ・ 道路ネットワークについて現状と課題を車と人の流れの面から課題を整理
  - ・ 東西、南北方向主要道路、駅前広場と駅アクセス道路の整備、自由通路の検討を提示
- (4) 地区整備のイメージ
  - ・ 地区整備のイメージを 2 案提示
  - ・ プラン 1：鶴見川沿いに東西主要道路、駅前広場に公園を配置し、賑わい空間を創出
  - ・ プラン 2：既存の生活道路を活かした東西主要生活道路、川井田人道橋付近に桜並木と繋がった公園を整備。

## 2. 質疑応答・意見交換

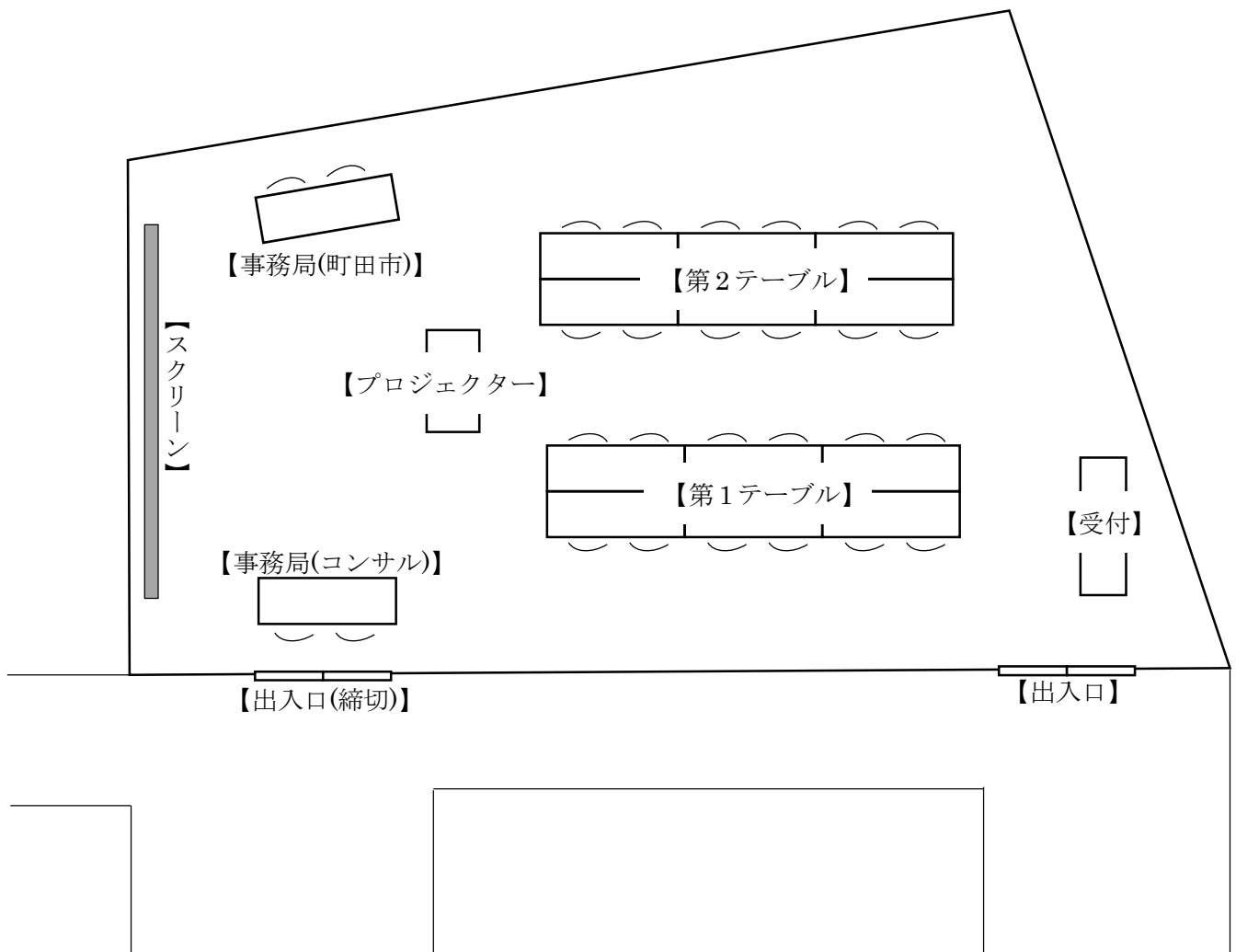
### 【質疑応答】

資料説明に関して質疑応答を実施

- ▶ 河川敷の通りは何メートルを予定しているのか。  
→道路幅員+河川管理通路の幅員については、6 m (道路) +  $\alpha$  (河川管理通路)を想定しているが、河川管理通路の幅員については今後検討が必要である。
- ▶ 河川沿いから1号踏切までの道路は6 mとしているが、学生が多く歩くので歩道があったほうがよいのではないか。  
→駅南北を結ぶ自由通路ができれば流れが変わる。今の段階では、まだどこに歩道をつけるかなどは今後検討が必要である。

### 【意見交換】

以下に示すように出席者は着席していたテーブル毎に、地区整備イメージのプラン1とプラン2について大判の打ち出し図面を用いて意見交換を実施した。



参加者からの主な意見は以下の通り。

■第1テーブル（入口側のテーブル）

- ▶ 2つのプランを比べると、プラン1のほうがすっきりとしていると思うが、プラン2のほうが現在の道路を活かしており現実的な気がする。
- ▶ 道路整備を考える時に学生の歩行空間（歩道）を確保して欲しい。
- ▶ 下水道整備を考えて早めに6mに拡幅したほうが良い。
- ▶ 道路拡幅はなるべく早めに実施して欲しい。
- ▶ 道路ネットワークに関しては、鶴見川を渡り川崎市側へ向かうルートも含めて考えたほうが良い。
- ▶ 1号踏切からの道路は自転車が多く危険なので、拡幅するには歩道が必要である。
- ▶ 1号踏切から川崎市に抜ける川井田人道橋を車も通れるようにするのはどうだろう。現在も橋の手前で送り迎えをする車が多くある。
- ▶ 川井田人道橋を車も通れるようにして欲しい。その際、1号踏み切り側の道路が混雑しない様に2号踏切側も通り抜けできるようにするなどの配慮も必要。
- ▶ プラン1で鶴見川沿いを駅前広場まで車道とするならば、6m以上に拡幅するのは難しいのではないかと。歩行者の安全性や利便性を考えると一方通行とすることも考えられる。（その場合には、対岸の川崎市側の鶴見川沿いの道路も含めたルートの検討が必要）
- ▶ プラン2では、鶴見川沿いの道路で部分的に歩行者と交わる区間があるが、その部分は歩道が必要だと思う。
- ▶ 年金暮らしなので、住宅が道路などにあたって、建て替えは難しい。また、マンション暮らしもしたくない。河川改修工事では補償が十分でなく苦勞させられた。

■第2テーブル（窓側のテーブル）

- ▶ 子どもや孫の世代のために今、しっかりと将来像を考えることが重要であり、そのためには、今、しっかりと検討を深めるべきと考えている。
- ▶ プラン2は交差点が増えてしまうので、プラン1のほうが道路は利用しやすい。
- ▶ 自転車の通行も多いので、通行者が多いルートには歩道が必要である。
- ▶ 踏切を渡る自動車が増えるのではないかと。
- ▶ 跨線橋側道からのアクセスルートを確保するためにマンションの建替えが必要となるなら実現は難しいかもしれない。
- ▶ 2号踏切から大正橋までまっすぐに道路を通す方がカーブ区間も無くなり、街区としても矩形となりすっきりする。

- ▶ プラン2では川沿いの戸建住宅は歩行者や車の通行が増え環境が悪くなるのではないかな。
- ▶ 鶴見川沿いの道路を拡幅すると建物にあたるが、プラン1の鶴見川沿いの道路のほうの影響は少ないのではないかな。
- ▶ 東側は道路をしっかりと整備することが必要。
- ▶ 骨格となる道路は6mとして、これに4mの道路を接続することにより利便性の高い道路網が形成できるのではないかな。
- ▶ 西側の道路を拡幅して下水道を整備し、消防活動ができる道路幅を確保する。
- ▶ 西側は整形な道路を入れる時の位置と幅員について知りたい。
- ▶ 骨格は、1号踏切の南北と鶴見川沿いの東西道路である。
- ▶ 現在の1号踏切の道路で東側と西側を区分するのが良いのではないかな。

### 3. 今後の予定

次回、第19回の検討会は、8月30日（土）午前10時を予定している。